

特集

コロナ時代の泌尿器科 領域における感染制御

企画にあたって

このたび、「臨床泌尿器科」編集委員会のご高配を賜り、「コロナ時代の泌尿器科領域における感染制御」というテーマで、各領域の文献を熟知されている先生方にご執筆をお願いした。ご執筆された先生方は、ようやく完成した「尿路管理を含む泌尿器科領域における感染制御ガイドライン（改訂第2版）」の共同執筆者でもある。

このコロナ禍において、改めて認識されたのが感染制御の重要性ではないだろうか。標準予防策はもちろん、飛沫感染予防と接触感染予防についても認識を改めた泌尿器科医は少なくないだろうと想像する。ただし、たとえコロナ禍ではないとしても、感染制御に関する知識はもっておくべきであり、これらの知識は診療においても大いに役立つと考える。

今回の企画では、基礎知識、日常臨床での対策、患者さんと自らの身を守る対策など、必要十分なポイントを網羅している。勤務されている施設や規模を問わず身につけておきたい内容ばかりなので、ぜひともこの機会にしっかりと知っていただければ幸いである。

札幌医科大学医学部
感染制御・臨床検査医学講座

高橋 聡